令和５年度　後期車体整備技能講習生　募集案内

1.　開催期間　　令和５年 10 月７日(土)～令和６年３月 10 日(日)

2.　受付期間　　令和５年８月 28 日～９月８日　９：00～16：00

3.　募集要項　　※希望者が少ない時は、実施されない場合があります。

	定　員	受講料(教材費・税込み)	
車体整備	20 名	会員	79,000 円
		一般	98,000 円

4.　申込時に準備するもの

① 受講料

② 受講申込書（2.3 級整備士は振興会ホームページより印刷）

③ 申込者の印鑑(シャチハタは不可)

④ 実務経験証明書　（別紙にて記載）

所属事業場責任者とは　事業者又は工場長等を指す

※車体整備士の実務経験について

特定認証又は分解認証事業場以外での経験者については、別紙の『実務経験証明書』の提出が必要になります。

⑤ ハガキ　１枚　（受講者本人の宛名記入）

5.　受講資格

車体整備　　講習修了日の前日に於いて、実務経験が１年以上の経験があること。

6.　後期講習会日程(予定)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7 日/土	4 日/土	2 日/土	13 日/土	3 日/土	2 日/土
15 日/日	5 日/日	9 日/土	21 日/日	10 日/土	3 日/日
22 日/日	11 日/土	16 日/土	28 日/日	18 日/日	10 日/日
29 日/日	19 日/日	17 日/日		23 日/金	
	26 日/日	23 日/土			

お問い合わせ先

鹿児島県自動車車体整備協同組合

鹿児島市谷山港２丁目４番 10 号　鹿児島陸運会館内

電話　099-261-9166　　FAX　099-261-8535

※申込用紙等は車体組合ホームページを講習会の後期整備士技能講習用紙込用紙及び実務経験証明書を印刷して活用ください。

受　講　申　込　書

令和　　年　　月　　日

受講種目	車体整備	受付番号		受講番号		修了番号	

一般社団法人 鹿児島県自動車整備振興会技術講習所所長　殿

捨印

自動車整備技術講習を受講いたしたいので受講料を添えて申込みます。

（ふりがな）		性別	男　・　女	生年月日	昭和 平成　　年　　月　　日生
氏　名	印				
現住所	（〒　　）			携帯電話番号	—　　—
勤務先	所属事業場名 電話番号（　　－　　－　　）			所属事業場住所	（〒　　）

写真貼付欄

①最近6ケ月以内の上半身
脱帽のもの
②大きさは　たて 4.5cm
よこ 3.5cm
③写真は貼り付けしないで
裏面に氏名・生年月日を
記載して提出する

車体整備の実務経験

	期間		会社名	認証番号	職名	作業内容
記入例	R2 年 3 月 11 日から R4 年 3 月 31 日まで	2 年 0 月	鹿児飯金塗装工場	7－9001	車体工	車体整備
	年 月 日から 年 月 日まで	年 月				
	年 月 日から 年 月 日まで	年 月				
	年 月 日から 年 月 日まで	年 月				
	合計	年 月	※必ず別紙にて実務経験証明書を提出すること。			

	学校等の名称	学科名（専攻学科）	卒業（修了）年月日	卒業（修了）証書番号	確認印	
実務が短縮される学歴 ※短縮対象者のみ記入		科	昭和 平成 令和　　年　　月　　日	第　　号		※
	種類	合格年月日		合格証書番号		
既に合格した整備士の種類 ※2級受講者のみ記入	級　　整備士	昭和 平成 令和　　年　　月　　日		第　　号		※

［注］(1) ※印には記入しないこと。
(2) 該当欄はもれなく記入すること。
(3) 受講申込の際技能者手帳又は合格証書を提示すること。
(4) 訓練校又は学校(機械科)卒で資格の生じるものは卒業(修了)証書を提示すること。
(5) 講習開始後受講を取り消しても受講料の払い戻しはしません。(受講できなかった場合も含む)

総確認印　※

令和　記入しない　年　月　日

受　講　申　込　書

受講種目	車体整備	受付番号	
		受講番号	
		修了番号	

一般社団法人 鹿児島県自動車整備振興会技術講習所所長　殿

鹿屋

自動車整備技術講習を受講いたしたいので受講料を添えて申込みます。

（ふりがな）	かや　しゃたろう				
氏　名	鹿屋　車太郎　鹿屋	性別	男 ・ 女	生年月日	昭和 平成 15 年 8 月 10 日生
現住所	（〒 891－0131 ） 鹿児島市谷山港2丁目4番11号　〇〇〇ハイツ203号			携帯電話番号	090 － 0001 － 9999

勤務先	所属事業場名	電話番号	所属事業場住所
	有限会社 鹿児島鈑金塗装	（ 099-261-9199 ）	（〒 891-0113 ） 鹿児島市谷山港2丁目4番10号

写真貼付欄

①最近6ヶ月以内の上半身
脱帽のもの
②大きさは　たて 4.5cm
よこ 3.5cm
③写真は貼り付けしないで
裏面に氏名・生年月日を
記載して提出する

車体整備の実務経験

	期間		会社名	認証番号	職名	作業内容
記入例	R2 年 3 月 11 日から R4 年 3 月 31 日まで	2 年 0 月	鹿児鈑金塗装工場	7－9001	車体工	車体整備
	H 29 年 4 月 1 日から R 5 年 9 月 31 日まで	7 年 5 月	有限会社 鹿児島鈑金塗装	7-9999	車体工	車体整備
	年 月 日から 年 月 日まで	年 月				
	年 月 日から 年 月 日まで	年 月				
	合　計	7 年 5 月	※必ず別紙にて実務経験証明書を提出すること。			

2年以上の実務があること

実務が短縮される学歴 ※短縮対象者のみ記入	学校等の名称	学科名（専攻学科）	卒業（修了）年月日	卒業（修了）証書番号	確認印	※
		科	昭和 平成 令和 年 月 日	第 号		
既に合格した整備士の種類 ※2級受講者のみ記入	種類		合格年月日	合格証書番号		※
	級 整備士		昭和 平成 令和 年 月 日	第 号		

［注］
(1) ※印には記入しないこと。
(2) 該当欄はもれなく記入すること。
(3) 受講申込の際技能者手帳又は合格証書を提示すること。
(4) 訓練校又は学校(機械科)卒で資格の生じるものは卒業(修了)証書を提示すること。
(5) 講習開始後受講を取り消しても受講料の払い戻しはしません。(受講できなかった場合も含む)

総確認印　※

実務経験証明書

氏　名　　㊞

※分解認証を得ていない事業場の実務経験者のみ記載　　生年月日

1. 実務経験と期間と１カ月当たりの勤務時間

自動車車体整備士の実務経験とは、フレーム又はボディーの点検、修正、改造等の車体に係る整備作業

実務経験期間		合計期間
昭和 平成 令和	年　月　日 ～	昭和 平成 令和　年　月　日	年　ヶ月

１カ月の平均勤務時間	時間	160時間以上

2. 車体整備に係わる時間と他の業務に係わる時間との比率

車体整備作業に占める割合	%	60%以上

3. 雇用形態

事業主 ・ 正社員 ・ アルバイト（週40H以上）

4. 事業場全体の作業内容と本人の作業の内容

・事業場全体の作業は、 板金塗装整備作業 ・ 分解整備作業

・本人の作業内容は、該当項目に"レ"を記載する。

☐ バンパの脱着・取替・補修　☐ フロントフェンダー・ボンネットの脱着・取替・補修

☐ ボデーフレームの点検・修正　☐ フロントボデー骨格部分の補修・取替　☐ 灯火装置類の脱着・取替

☐ ドアパネルの脱着・取替・補修　☐ インスルメントパネル等の内部装飾品の脱着・取替

☐ イス・シート関連品等の脱着・取替　☐ クオーターパネルの取替・補修　☐ ロッカーパネル取替・補修

☐ トランクパネルの脱着・取替・補修　☐ バックパネルの取替・補修　☐ ワイヤレスハーネスの補修・取替

☐ その他関連補機部品の脱着・点検・取替

5. 工場の設備・工具等の一覧表又は写真 ・・・・・・・・ 別紙のとおり

6. 作業場の見取図（寸法入り）又は写真 ・・・・・・・・ 別紙のとおり

7. 整備士免許取得者による指導の有無

☐ 当事業所に車体整備士資格を取得している整備士はいない。

☐ 当事業所には車体整備有資格者＿＿名おり、上記の作業を指導しています。

令和　年　月　日

事業場名

所在地

事業者名　　㊞

別紙　5.工場の設備・工具等の一覧表又は写真

フレーム修正機及び車両保持台	板金用油圧機器
アーク溶接機	スポット溶接機
ガス溶接機	サンダー
ポータブル・グラインダ	ポリシャー

鈑金工具一式

一般工具一式

別紙　6.工場の見取図（寸法入り）又は写真

工場全景写真No.1

工場全景写真No.2

工場の見取図